

抗 RSV 抗体接種における小児循環器科との連携について

愛知県 小児循環器科 常勤医師一同

★ JCHO 中京病院	名城病院	愛知医科大学病院*	大同病院
日赤名古屋第一病院	藤田医科大学病院	一宮西病院	豊田厚生病院
★ 名古屋大学医学部附属病院	名古屋市立大学病院	春日井市民病院	名古屋西病院
★ あいち小児保健医療総合センター	日赤名古屋第二病院	蒲郡市院病院	安城更生病院
岡崎市民病院	豊橋市民病院	西部医療センター	

(修練施設・施設群番号順 / 常勤施設 50 音順 / *非常勤)

表題の件につき、愛知県小児循環器の対応について上記施設のスタッフと確認をとりました。

心疾患の病状変化による適応の有無、人工心肺術後の投与法の違いなど、小児循環器科特有の問題に各施設で取り組んでおります。以下に、心疾患の視点から RSV 予防の対応について整理しました。心疾患の適応部分を強調したコンセンサスも添付しますので、再確認が必要な方はご活用ください。

小児循環器科では医療者・施設間の連携を円滑に進め、心疾患を合併する患者を診ておられる先生方と、接種忘れや重複接種の防止に取り組んで参りたいと思います。

1. 心疾患児のベイフォータス®接種に特有の事項

人工心肺を使用する手術を受けた後に、補充投与を要します。補充投与用量の決定は大変複雑ですので、手術施設(★)を中心に判断することになると思われます。手術施設と併診施設の双方で重複接種のリスクがあることを認識し、連携を密にして参りたいと思います。

2. 21Trisomy、免疫不全、CLD

心疾患に関係なく接種可能であり、小児・新生児科（非小児循環器科）で 24 か月間の接種計画が構築されることが多いと思われます。重複接種のリスクが特に高いと認識しあった連携が望まれます。

3. 肺低形成、気道狭窄、先天性食道閉鎖症、先天性代謝異常症、神経筋疾患

心疾患の適応により、シナジス®のみ接種できるか、ベイフォータス®も接種可能かが変わります。小児循環器科医に適応可否の確認をとって、24 か月間の接種計画をご構築ください。

4. 早産児

初回の接種に関しましては、早産児適応で一律対応が可能かと思われます。

心疾患の適応により、2 回目接種の必要性が検討されます。小児循環器科の中で対応を進めて参ります。

5. 地域移動に伴う方針のずれ

心疾患の適応では、2024 年シーズンのシナジス接種者に対し、2025 年シーズンはベイフォータスを接種することがあります。各手術病院はまもなく用意が整います、併診中の患者様から問い合わせがある場合は、小児循環器科へ直接お問い合わせいただくようお声がけください。

手術病院では各地の先行接種を把握しきれない可能性があります。”1 シーズン目・2 シーズン目”が伝わる情報共有が対策にならないかと考えております。双方で配慮のほど、よろしくお願い申し上げます。